

勝山市北谷町 - ため池跡・ミチノクフクジュソウ自生地 -



土手に咲くミチノクフクジュソウ



水草の豊かな池



池が陸地化してできた湿地

選 定 理 由

- ・県レッドデータブック掲載種（県RDB種）(ミチノクフクジュソウ)の県内の代表的な生育地である
- ・県RDB種が多種確認されている

県レッドデータブック掲載種数： 13種（面積約40ha）

自然の概要

畦や土手などの草地在ミチノクフクジュソウの県内唯一の生育地になっています。また、現在利用されていないため池が、浅くなって湿地状になり、ミズゴケ、ショウブなどの湿性植物や水生昆虫の生息・生育地となっています。

保全すべき 主な環境

ため池とその周辺の湿地
草はら（ミチノクフクジュソウの生える畦や土手）
巨木林

自然保護関係 法の指定

奥越高原県立自然公園（一部）

もっと詳しく 知りたい人へ

福井県のすぐれた自然植物編,p73[北谷町のミチノクフクジュソウ群生地]

該当地の位置



里の生き物紹介 ミチノクフクジュソウ（キンポウゲ科）

ミチノクフクジュソウは、フクジュソウの一種で、早春に黄色い花を咲かせます。県内では、勝山市北谷町周辺にだけ自生地があります。

福寿草という名のとおり、おめでたい花として知られていることから、園芸目的の採集で数が減っています。また、土手や明るい林の下など、明るい場所に生えますが、草が茂りすぎて暗くなると育たなくなるため、生育している場所では定期的な草刈りや芝刈りが必要です。

保全すべき環境に生息・生育している生物



ミチノクフクジュソウ
県域絶滅危惧 類
落葉樹林の下や林縁に生育



ジュンサイ
県域準絶滅危惧
腐食栄養または貧～中栄養の湖沼やため池に生育



モウセンゴケ
要注目
日当たりの良い酸性湿地に生育



レンゲツツジ
山地の林縁地や草地に生育



ニホンリス
森林に生息し、枝のまたや樹洞に巣を作る